



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

## 輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和3年12月24日 27号 文責 校長 岩下裕之介

### 冬休みの子どもたちを、よろしくお願ひします。

長い2学期も、今日が最後の登校日、2学期のゴールである終業式を迎えました。2学期の始まりは8月27日（金）で、まだ夏でした。東京オリンピックが終わり、丁度パラリンピックがあっている頃で、たくさんの感動や感激を受けました。

9月は新型コロナウイルス感染症対策で、夏休み作品展が、校内だけの実施となりました。しかし、毎日の授業を子どもたちが大切にしてくれたことはもちろんのこと、5年生からスタートした研究授業で、多くの先生方からも、子どもたちががんばる姿をたくさん見ていただきました。



10月になると、新型コロナウイルスが少し落ち着いたので、5年生の野外体験学習を始め、社会科見学や生活科見学など、校外での学習を開始しました。教室だけではわからないことを、実際に見たり、話を聞いたりして、理解を深めました。また、バスや電車の中や見学先でのマナーも学びました。どこへ行っても、どの学年も、口石っ子のマナーのよさが光っていました。



11月には、6年生が修学旅行に行くことができました。自分たちで事前に見学地の情報を調べ、自分たちでパンフレットを作りました。どの見学地においても、その場にふさわしい態度で学び、楽しむことができました。雨は



降りましたが、とっても晴れやかな気持ちになりました。流石は口石小学校のリーダーだと改めて感動しました。

さらに、5年生の稲刈り体験、4年生の福祉体験、3年生の野菜づくり、2年生の町探検、1年生の昔あそびや農業体験施設での農業体験、自転車教室、メディア講演会など、地域の皆さんにも大変お世話になりました。どれも、一人ではできないことばかりです。先生や友達、お家の方、地域の方に応援していただきながら、子どもたちが目的やめあてを意識して活動に取り組み、振り返りをしっかりと行い、次の学習に生かす、ということを丁寧に繰り返すことで、たくさんの「できる」を増やす2学期にすることができました。

以上のような活動ができたのは、保護者の皆様が、毎日お子さんと学校での出来事を話題に会話をし、心と体を整えて、毎朝気持ちよく学校に送り出していただいたり、地域の皆様が見守って下さったりしたお陰です。保護者の皆様、地域の皆様のサポートに心より感謝申し上げます。

さて、本日は、2学期の締めくくりとして、終業式を行いました。私からは、「自分のために」「家族のために」というキーワードで二つのことを伝えています。

#### ① 自分のために

規則正しい生活に心がけて、学校に登校する時と同じ生活リズムを心がけて過ごすこと。  
ゲームのやり過ぎにも十分注意！

#### ② 家族のために

師走でみんな忙しいので、いつも学校でがんばっている、心をみがく一日一善を、いつもお世話になっている家族のために、がんばること。

学校で鍛えたあいさつ名人の姿を、ご家族のみなさんや親せきの人達にもしっかりと見せること。